

## 編集後記

6月まで2年間にわたって、プラズマ核学会誌の編集委員と企画幹事を務めさせていただきました。新型コロナウイルス禍の影響で、最後の4ヶ月は編集委員の皆様や事務局の皆様と直接お会いすることなく、ビデオ会議を通してのあっけない終わり方でした。今となっては、大阪から名古屋のプラズマ核事務局に毎月通っていたことさえ良い思い出です。

メディア報道でウイルスの“拡散”という言葉を目にしたことがありました。わたしは核融合炉材料中の水素同位体の“拡散”現象を研究テーマとしてきましたので、医学・生命科学等には無知なのですが、何か“拡散”の類似性がないかと考えてしまいます。高濃度の拡散源（感染者が多いところ）があれば、拡散して濃度が均一化していくのは必然ではなかろうかということです。ある都市の高濃度拡散源を隔離して高濃度のまま保っておくことは難しいのではないかと思います。いずれ、“拡散”により急峻な濃度勾配も緩慢になっていくのでしょうし、このプロセスは長期間にわたるのでしょう。インフルエンザでさえ、毎年定期的にワクチンによる予防接種をしているのですから、新型コロナウイルス感染症、改めCOVID-19 (COVID-19) の予防接種も同時に受けるような日が来るのではないかと思います。そのような日常が戻ってきたならば、ぜひ2020年7月に実施される予定であった編集委員会の新旧交代打ち上げを実施したいものです。(大塚哲平)

1年間務めてきた発行幹事から2020年6月で解放され、安堵に包まれている。思えば2年間の編集委員の任務を全うできるか多少の不安があった。就任前にギラン・バレー症候群(GBS)という難病にかかったからだ。末梢神経の障害で四肢・顔面・感覚が麻痺して思うように動かなくなった。入院中とてつもなく暇なので、握力が弱っている中、ググりまくると良くない情報ばかり書かれていた。人生に絶望しかけたが、可愛い子どもが生まれ、妻の献身的なケアもあり、幸い、免疫グロブリン大量療法と理学・作業・言語の3種類のリハビリ療法のおかげで快復した。最近新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、ワクチン開発が急ピッチで進められているが、GBSは患者が少ないので研究には時間がかかる。年間10万人に1人か2人の確率でしかかからない。私の場合は第二波も来たのでさらにその10分の1だ。年末ジャンボ宝くじ2等が当たるような確率だ。どちらの病気も誰でもかかり得る。結局原因はよくわからないが、今のところ問題もなく、日々の健康の上に研究活動ができています。入院中、私の血液サンプルを某K大学に提供した。微力ながらGBS研究に貢献した。微力ながら核融合プラズマ研究の方にも貢献したい。少なくとも本学会の編集業務には微力ながら貢献できたかと思う。発行幹事として国際会議の動向を見続けましたが、多くの会議が中止や延期になり、発表の場が今年は少ないようです。土岐コンはオンラインも併用しながら開催予定ですので(リモートでの)参加をお待ちしております(土岐コン幹事より)。(辻村 亨)

### プラズマ・核融合学会 役員

会 長：森 雅博  
副会長：安藤 晃 (推薦委員長：研究助成, 男女共同参画委員長) 竹入康彦 (推薦委員長：学会賞, 研究部会連絡会委員長)  
常務理事：下妻 隆 (総務委員長)  
理 事：荒巻光利 (編集委員長) 出射 浩 大勢持光一 大野哲靖  
金子俊郎 木戸修一 (財務委員長) 小西哲之 齊藤輝雄  
篠原孝司 (広報委員長) 神野雅文 中井光男 (年会運営委員長, 企画委員長)  
渡邊隆行 (企業展示検討委員長, 支部・地区研究連絡委員長) 横峯健彦 和田 元  
監 事：中村圭二, 前田達志

### プラズマ・核融合学会 領域長

基礎 荒巻光利 応用 渡邊隆行 核融合プラズマ 大野哲靖 プラズマ炉工学 小西哲之

### プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：荒巻光利(日大) 副委員長：出射 浩(九大)  
エディタ：古閑一憲(九大), 比村治彦(京都工繊大), 波多野雄治(富山大), 城崎知至(広島大), 藤田隆明(名大), 村上定義(京大)  
編集委員：池添竜也(九大), 今寺賢志(京大), 岩田夏弥(阪大), 上野一磨(中京大), 大谷芳明(量研), 小川大輔(中部大), 呉 準席(大阪市大), 小柳津 誠(量研), 加藤雄人(東北大), 河村学思(核融合研), 小林 真(核融合研), 小林政弘(核融合研), 近藤康太郎(量研), 齋藤誠紀(山形大), 齋藤晴彦(東大), 柴田崇統(高エネ研), 清水鉄司(産総研), 竹田圭吾(名城大), 田中宏彦(名大), 中村浩隆(阪大), 水口直紀(核融合研), 向井啓祐(京大), 本村大成(産総研), 森田太智(九大), 森高外征雄(核融合研), 山田大将(長野高専), 安原 亮(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

### プラズマ・核融合学会誌第96巻第8号

編集・発行  
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷  
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2020年(令和2年)8月25日  
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485  
E-mail: plasma@jspfor.jp URL: http://www.jspfor.jp/ 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。